

# ばわわ 13号

## ばわわとは?

**ばわ** 天白を元気にする**カ(パワー)**  
**わ** 地域をつなげる**輪(わ)**と  
 和める**(わ)**たまり場づくり  
 そんな思いがひとつになって  
**ばわわ**と名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会  
 情報誌「ばわわ」プロジェクト  
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301  
 原タニミナルビル3階  
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551  
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp  
 http://www.tenpaku-shakyo.com  
 編集 株式会社 リベルタ  
 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号  
 TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421  
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報誌「ばわわ」へのご意見、ご感想も  
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障害その他の理由で活字のままでは読むことの困難な人のために、巻末を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



## 川遊びを通じて 自然環境の大切さを考える

太陽のまぶしい夏はもうすぐ。  
 1年の間で一番遊びが楽しい季節です。  
 今号は「遊び」をテーマにお届けします。



総合学習のまとめとして、  
 子どもたちに  
 「川の美化」について  
 ポスターを描いて  
 もらいました。



**ボランティアスタッフを募集しています。**  
 川辺の生物や草花の観察、子ども向けのイベントのお手伝いをしてくださる方を募集しています。私たちと一緒に川づくりの活動をしませんか。問合せ先:事務局 村瀬 劭 TEL・FAX:801-2675

豊かな自然環境を次世代に残すことが、現代の私たちの課題です。「子どもの笑顔が見える川づくり」をモットーとして、生活に身近な川に接することで自然や命の大切さを実感する機会を提供している「天白・川辺の楽校」を紹介します。

緑豊かな天白川。多くの生き物が住んでいます。オイカワ、メダカ、ギンブナ、ドジョウ…。魚だけでなくサギやカワセミ、そして色とりどりの草花が天白川の水の恵みの中でその命を育んでいます。「水がきれいだと魚が住むようになる。すると魚を食べる鳥が集まってくる。その鳥のフンにまじっていた草花の種が芽を出し、それによってまた水がきれいになる」という自然の循環があります。そう語るの、天白・川辺の楽校事務局長の村瀬さん。親子向けのイベントや小学校の総合学習の中で、川と親しみながら環境の大切さを学ぶ手助けをしています。

### 命と環境へのまなざしを育てる

ペットボトルで作ったいかだで川を下ったり、魚を捕まえたりと、子どもでなくてもワクワクするようなイベントが

たくさん。でも、ただ楽しむだけではありません。こうした川遊びが、命や環境について考える機会にもなっているのです。せつかく捕った魚が死んでしまうのを目の当たりにし命のはかなさを感じたり、プール開き前のプールからヤゴを救出し羽化させることで小さな命のきらめきにふれることができるのです。

### “川のおじさん”と呼ばれるのが誇り

平成12年にはじまったこの活動。「外を歩いていると、子どもたちから、“川のおじさん”と呼ばけられることがとてもうれしい」と満面の笑みの室谷さん。小学校の学習では「天白川の昔と今の講話」や、「生き物観察会」などを行なっています。子どもたちに確かな情報を伝えるため、ボランティアスタッフが手分けをして勉強。「これまで何百人という子どもたちに接してきましたが、そのうちの一人でも多く、これをきっかけに環境に関心を持ってほしい」と話すお二人。豊かな環境を守ろうという想いが、川の流れのように次の世代に受け継がれていくことを願っています。

.....お知らせ.....

**「ヤゴ救出作戦」**  
 天白プールの開放前に、プールの中にいるヤゴを捕獲し、持ち帰って育成しましょう。  
 日時:6月17日(日)午前10時~12時 場所:天白プール  
 参加費:1人100円 持ち物:たもや、やごを入れる容器  
 ※濡れてもよい服装で運動靴を履いてお越しください。  
 詳しくは事務局までお問い合わせください。

それはなに? .....

空き缶にクギなどで穴を開け、そこに太いひもやたこ糸を通して結んで使います。空き缶は同じサイズを2個。少し大きめの方がいいでしょう。答えはp.3です。



## 子どもから大人まで楽しむことのできる、地域のコミュニティスペース

### 天白児童館

地域の子どもの遊び場として、昔から慣れ親しまれている児童館。ここ天白児童館でも、午前は子育てサークルや幼児を対象にしたクラブにたくさんの親子が訪れ、午後は学校帰りの小・中学生で賑わっています。高校生が訪れることもあるとのこと。

「高校生が利用するのは、他の児童館と比べると珍しいようですね。卓球やダンスなど、目的がはっきりしている子たちが多いようです。児童館の位置づけは、一昔前は卓球や将棋やオセロ、ちょっとしたおもちゃなどがあれば子どもたちは十分遊べたようですが、最近はお母さんたちの要望も多く、魅力のあるイベントや今時のおもちゃがないと、なかなか児童館に足を運んでくれないですね」と館長の布山さん。

以前から「親子わらべうた」や、「子どもクラフトきょうしつ」などを開催していますが、さらに親子で参加できる「ヨガ教室」、食育を意識した「親子でクッキング」、プームになっている「カローリング」など、今の時代にあった行事やイベントをレクリエーショ

ンスタッフが知恵を絞って企画しています。また館内も、子どもたちが来館しやすいように、手作りのキャラクターの絵などを飾っています。

児童館は単に遊び場としてだけ存在するのではなく、地域の人たちとのふれあいの場にもなってほしいということから、4月から「エコアンサンブルフリークラブ」も始まりました。リコーダーやハーモニカなど、電力のいらぬ環境にやさしい楽器を使って演奏を楽しむクラブです。地域活動を展開している音楽サークル「天白エコアンサンブル」のみなさんと毎回一緒に活動し、世代を超えて演奏を楽しんでいます。

「いくら注意してもルールやマナーを守れない子がいると、ついつい口うるさくなってしまいます」と布山さん。しかし、核家族化が進み、叱ることが苦手な親たちにとってお手本になる町のお母さんの存在の人は必要なはず。児童館は子どもだけでなく、



1歳児を対象にした人気のクラブ「親子わらべうた」

子育てをする親たちの大切な集いの場にもなっているのです。

#### お知らせ

天白児童館では子育て広場「てくてくサロン」が始まります。詳しくはお問い合わせください。

日時:6月28日(木)から毎月1回、午前10時~11時30分  
対象:0歳~2歳までの親子  
天白児童館 天白区池場5-1801  
TEL:805-4129



## 和みスポット

自然の恵みをまるごといただきます!

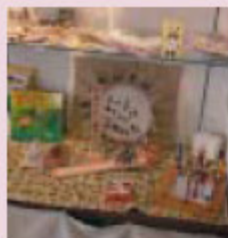
### 自然菜食&café「まあるごと。」

昨年8月にオープンした「まあるごと。」。大通りに面しているにもかかわらず、店内に一步足を踏み入るとゆったりとした時間が流れています。肉や魚を使わず、自然農法で栽培された野菜を中心としたメニューに、健康に関心のある女性たちの



木の温かいぬもりが感じられる店内。ベビーカーでも入れます

支持を集めています。中には毎日来る常連さんもいるとか。人気はランチタイム20食限定の「野菜の重箱」や、牛乳や砂糖を使わないスイーツなど。「極力手をかけずに育った野菜は力があり、それを皮まで“まるごと”感謝しながら食べることで、私たちに力を与えてくれるのです」。親しい人の病気をきっかけに、食の大切さを学んだという吉野店長。食を考えるきっかけになればと、各テーブルには自宅でも作られるようにとメニューのレシピが置いてあります。こうした一歩から健康な食生活を始めてみませんか?



子どもが遊べるように、絵本とおもちゃが用意されています

営業時間: 午前10時~午後9時  
定休日: 火曜日  
住所: 天白区菅田2-701  
TEL・FAX: 848-0604



## メイドイン★天白

### 個性で勝負する「遊べる本屋」

ヴィレッジヴァンガード本店

「ヴィレッジヴァンガード」というお店を知っていますか? 書店と雑貨店を複合したようなお店で、店名はピンとこなくても、ショッピングセンターなどに入っていて「床から天井までギッシリと商品が陳列されているお店」、といえは思い出しただけですか? いまや直営店、フランチャイズ店を含め、全国に200店以上ある「ヴィレッジヴァンガード」ですが、実は天白区が発祥の地なのです。植田西の交差点を北に走ること3分。倉庫作りの建物がそのお店です。

「遊べる本屋」をコンセプトに、書籍、雑貨、ニューメディア(CD・DVD類)などが、所狭しと並んでいます。書籍は書籍、雑貨は雑貨とコーナーを区別するのではなく、例えば、クルマ雑誌の横にミニカーを並べるなど、関連性を持たせたものを陳列することを意識しているようです。「本を買いに来ただけなのに、隣にあった雑貨まで



20年前にオープンしたときとたまたまの変わらない店舗

ついつい衝動買い!なんていう嬉しい誤算もこの店ではよくあることです。

営業時間: 午前10時~深夜0時  
定休日: 年中無休  
住所: 天白区植田西1-515  
TEL: 805-2535



## この指とまれ! ボラン・ティ・ア・情・報

### ■トレーニングジムへの付き添いボランティア募集

視覚障害者(30代男性)がスポーツセンターでトレーニングを行う際の見守り及び機材の調整(おもりの調整など)を行っていただけるボランティアを大募集しております。皆様からのご連絡をお待ちしております。

- 日 時: 週に1~3回1時間程度 日程は応相談
- 募集対象: 年齢性別不問
- 場 所: 天白スポーツセンター(天白区植田3-1502)
- 連絡先: 天白区社会福祉協議会 担当/濱田 TEL:809-5550

### ■交流ボランティア募集

言語障害者(20代男性・自閉症)と交流(一緒に新聞を読んだり、トランプをしたり、ピアノの演奏を聴いていただく等)していただける方を募集しております。皆様からのご連絡をお待ちしております。

- 日 時: 水・木以外で2週間に1回程度 午後3時~5時30分
- 募集対象: 男性の方を希望(年齢不問)
- 場 所: 自宅(天白区表山近辺)
- 連絡先: 天白区社会福祉協議会 担当/濱田 TEL:809-5550

### ■高齢者と接することが好きな方大募集

グループホームファミリア植田では、以下のボランティアを大募集しております。近所の知人宅を訪問するような気軽な気持ちでご参加ください。皆様からのご連絡をお待ちしております。

- 日 時: 月1回~毎日 午前9時~午後8時のうち、30分~1時間(イベントの際は2~3時間)
- 募集対象: 年齢性別不問
- 募集内容: ①話し相手、散歩の付き添い  
②歌や創作活動を一緒に行う  
③行事やイベントのお手伝い  
④日常の清掃等の手伝い
- 場 所: グループホームファミリア植田(天白区植田1-1807)  
※地下鉄植田駅より徒歩2分
- 問合せ先: 担当/田中・山下 TEL:807-8057

# 介護のヒント + お悩み相談



**Q.** 認知症の高齢者と楽しくお話がしたいのですが…。

**A.** 「回想法」を用いて昔話を聞いてみてはどうでしょうか。

「回想法」とは、たらいや洗濯板などの生活用品、面子やビー玉などの遊び道具、また、懐かしい写真などを用いて、高齢者が昔の思い出を語り合うことによって脳を活性化させ、心を元気にしていく方法です。

アメリカの精神科医R.バトラーによってはじめられた心理療法で、その人の人生の歩みや思い出に共感をもって耳を傾けることから始まります。認知症の高齢者にとっては、昔のことを思い出すことで喜怒哀楽の感情が呼び起こされ、情緒が豊かになるだけでなく、話を聞いてもらうことで自尊心が回復するという効果があります。また少人数のグループで行うグループ回想法の場合、お互いの個人史が明らかになるにつれて、同時代を生きた者同士の連帯感が芽生え、コミュニケーションが促進されることもあります。また、認知症の高齢者に接する側としては、その高齢者がどのように生

きてきたかを知ること、その人に適した接し方を見いだすヒントとすることができます。高齢者に教えてもらうという姿勢で話を聞くことが大切です。

現在では、認知症高齢者や介護予防のためだけでなく、高齢者と若い世代のコミュニケーションを促す地域活動の1つとして展開されています。

**【回想法をより深く知りたい方は…】**

**●北名古屋市回想法センター**

昔の学校教室をイメージした部屋や、懐かしいおもちゃや生活道具が展示してあります。また、回想法のビデオや資料を見ることができます。

回想法の教材となる懐かしい道具を箱につめた「回想法キット」の貸出しも行ってあります。



開館時間:午前9時～午後4時(ただし、木曜日の午前中は市行事のため入室をご遠慮いただいております)

休館日:土・日・祝日・年末年始

北名古屋市六ツ師704番地1 TEL:0568-24-5337

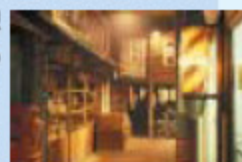
**●北名古屋市歴史民俗資料館**

昭和20年代～30年代の様子を再現した路地裏や駄菓子屋、その当時の日用品や生活用品が展示されています(回想法を行うときに参考になる物がたくさん集まっています)

開館時間:午前9時～午後5時  
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館)、毎月末日(館内整理日)、年末年始

北名古屋市熊之庄御神53番地  
TEL:0568-25-3600  
FAX:0568-25-3602

<http://www.city.kitanagoya.lg.jp/tanoshimu/minzoku/index.shtml>



## ふれ愛ネット天白 始動!

ふれ愛ネット天白では、会員どうしのネットワークを深めながら、地域とのつながりをつくり、地域の福祉力を高めていく中で、『誰もが安心して暮らすことのできる天白区』をめざして3つのグループに分かれて活動を始めていきます。



**①会員どうしのつながりを深めるグループ**

- ・会員である各団体の紹介を兼ねた交流会や勉強会の開催
- ・悩みを相談し合えるような機会づくり 等

**②関係団体・機関とのつながりをつくり強めるグループ**

- ・天白区社会福祉協議会との協働事業の開催
- ・災害時の要援護者への協力体制を協議する場をつくる 等

**③ふれ愛ネット天白をPRするグループ**

- ・広報紙等の作成(参加会員の紹介や福祉情報等の掲載)
- ・協力者や賛同者を増やす取り組み 等

ふれ愛ネット天白…障害者関係団体や福祉施設及びボランティア団体等が中心になって「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」を目指して活動しているネットワークです。

**問合せ先**

「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内)  
TEL:809-5550

さらに「第23回福祉区民のつどい」の企画運営を行います。地域の他の団体ともつながり、実行委員会を組織してつどいを成功させたいと思っています。

ふれ愛ネット天白に興味を持った団体や個人の方は、ぜひお問い合わせください。一緒にまちづくりをしてみませんか?



**心の交流でストレス解消  
【ふれあいの里】**



持ち寄りのお茶やお菓子をいただきながら、昔話にも花が咲きます

「人に誘われて来るようになった」「近所の方と挨拶くらいできるようになれば」「一人していると病気のことや将来のことばかり考えてしまうから」など、参加するきっかけは様々ですが、みなさん一様に「いいところよねえ」と、満面の笑みで答えてくれました。元々、この地域(平針北学区)に発足していた「シルバー親睦会」。2年ほど前、「新潟の中越地震、スマトラ沖の地震などを目の当たりにして、地域の人との日頃からのふれあいが大切であるということを感じました。」と相談役の奥田さん。その当時、会員からも「何か定期的な活動をやってほしい」という声もあり、地域の方が気軽に交流できる場として「ふ

れあいの里」が誕生しました。参加者同士が交流を楽しむだけでなく、色々なプログラムが用意されています。抹茶を立てて味わったり、手芸や紙細工作りをしたり、琴の演奏を楽しんだり、囲碁・将棋をするなど、活動は多岐にわたっています。「室内の活動だけではなく、週に3回グランドゴルフを行うなど、文武両道を常にイメージしながら内容を決めていきます」と相談役の奥田さん。文字通り「ふれあいの里」で、心の交流をしてみませんか?

**【会場のご案内】**

場 所:平針北コミュニティセンター 1階 和室  
日 時:毎月第2・第4月曜日の午前10時～午後4時(入退自由)  
参加費:無料

**答え**  
**【缶ぽっくり(缶げた)】**  
**これはなに?**



足を乗せて歩く、竹馬のようなおもちゃです。競争をしても面白いですね。柔らかすぎる道やでこぼこした道は、転倒のおそれがあるので遊ばないようにしましょう。

**ばわわ**  
子育て  
日記

No.13 **デパートで親子ともどもリフレッシュ!**

今年の夏に遠出する計画はありますか? わが娘の保育園では、まとまった休みはお盆の3連休しかありません。さらに共働きの親同士の休みも合わず、どこかへ遠出することはなかなか叶いません。そこで今年の夏も「近場でリフレッシュ大作戦」です。遊園地や公園もいいのですが、目先を変えてデパートの屋上遊戯場がおすすめです。子どもの聞き分けがよければ子連れでのショッピングも楽しめます。もっともわが家の場合、遊戯場とランチタイム、おもちゃコーナー以外は「疲れたーっ」と動かなくなり、ショッピ

ングは不可能ですが…。「デパートに行ったらそれだけお金がかかってしまうし、疲れるだけ。それなら家にいたほうがいいわ」と思った子育てママさん! いつも家の中ばかりいたら「すっぴん」も気にならないうえに、見た目にも老け込んでしまいますよ。自分自身や夫、また子どものためにも心に刺激を与えて若返りしましょう! 見た目が華やけば心も晴れて明るくなりますから! 明るさが一番大切です。世の子育てママさんたち、ともに頑張りましょうね!(みとりん)



No.5 **認知症の人の世界を知る**

私はグループホームで認知症の高齢者の方と接する仕事をしています。ある日、「頼む。頼むから私を小学校に入学させてくれ」と、一人のおじいさん(Nさん)が真剣な眼差しで私に懇願してきました。認知症の人の言動には、必ず原因や動機があります。生い立ち、家族構成、仕事、趣味、時代背景、こだわり、好きなことなどを知った上で、言動の原因や動機に気付くことが、認知症の介護には重要です。Nさんのまとまりのない説明の中で、「孫」という言葉が何度も繰り返されていることに気がきました。N

さんの家族が孫たちを連れて来所し、とてもにぎやかなことがあります。「孫に会いたい」というNさんの気持ちが、小学校への入学を決意させたのです。Nさんの気持ちを尊重して、「今度、一緒に入学の手続きに行きましょう」と相づちを打ちました。するとNさんは満面の笑みを浮かべました。対応ひとつで認知症の人とのコミュニケーションがスムーズになるのです。(モカ)



**ばわわ**  
介護  
日記

**たくさんのご応募ありがとうございました!**

今回、その中から選りすぐりの7点を選びさせていただきました。

**天白の井戸端**

- 早々とお菓子あげる バズ旅行 宮田ゆり子さん
- お手玉を三つ手に取り 四苦八苦 山口和子さん
- わが人生 遊びの中は 苦を消える 加藤君代さん
- 遊び事 脳を身体を 元気の元 山本みよ子さん
- 春風は 遊びのメール 响おどる キョートなS子さん
- 野に遊び おにまじり 旨し 磯の味 井上さん
- 金曜日 いまいきクラブに 游学す シゲノマサコさん

今回のお題「遊び」

次回のお題「運動」

皆さんからの投稿をお待ちしています。  
締切:8月1日(水)  
〒468-0015天白区原1-301  
原ターミナルビル3階  
天白区社会福祉協議会「ばわわ」川柳係  
Fax:809-5551

**「住みつけたくなるまち天白」を しゃきょうサポーター 募集!!**  
(賛助会員)

しゃきょうサポーターとは、天白区社会福祉協議会が行う「福祉のまちづくり」の事業を支援する賛助会員のことです。個人・法人問わず、どなたでもサポーターになっていただけます。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。 ※ホームページより申込書をダウンロードできます。

■個人 1口/1,000円(年額) ■法人・団体 1口/5,000円(年額)

お申込み  
お問合せ先

社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会  
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階  
TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp  
ホームページhttp://www.tenpaku-shakyo.com

**善意の輪**

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。  
天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。  
(平成19年2月1日から4月27日受付分 受付順)

- 本州建設株式会社 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様

私の最近の癒しは、甘い香りの入浴剤や石鹸を使うこと。穏やかな気分になれ、リラックスできます。今回のテーマでもある「遊び」を通して、日々の疲れや忙しさから心を解放することも大切。皆さんの癒しやすストレス解消法は何ですか?(ち一坊)



**協賛広告 募集!**

天白を元気にする  
情報紙「ばわわ」に  
協賛広告を載せて  
みませんか?  
発行部数 約60,000部

天白区社会福祉協議会

tel. (052) 809-5550 fax. (052) 809-5551  
e-mail tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp